

## 環 境 報 告 書

2023年 8月報告

|      |                           |   |              |           |              |
|------|---------------------------|---|--------------|-----------|--------------|
| ふりがな | さわんどけんせつかぶしきがいしゃ          |   |              | 認定<br>ランク | 三つ星 (☆☆☆)    |
| 事業所名 | サウンド建設株式会社                |   |              |           |              |
| 概 要  | 所在地                       | 松本市安曇 4160 番地 2   |              |           |              |
|      | 代表者名                      | 代表取締役 川上隆英  |              |           |              |
|      | 事業規模<br>(主な事業内容<br>・従業員数) | 総合建設業：長野県知事 許可（特・28）第 1193 号<br>事業内容：土木、とび土工、舗装、石工事業<br>設立 昭和 38 年 3 月 1 日 資本金 6,000 万 従業員 31 名 |              |           |              |
|      | 担当者                       | 所属  | 総務部          | 氏名        | 河邊澄子         |
|      | 連絡先                       | 電話  | 0263-93-2810 | FAX       | 0263-93-2046 |

## ○ 環境に配慮した取組みの内容

|             |  |
|-------------|--|
| 環境に対する理念・方針 | <p>環境方針<br/>豊かな自然 心地よい環境を 子供たちへ そして孫たちへ</p> <p>基本理念<br/>受注及び利益の確保を根底におき、労働安全衛生の体制を確立し安全で働きやすい職場づくりに取り組むとともに、当社の事業活動から生じる環境負荷の低減に努め地域社会の信頼を得られるよう、全社、環境保護活動を推進します。</p>  |
| 環境に関する取組目標  | <p>【行動指針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>美しく豊かな自然環境のなかで従事していることを意識し、生態系の保護、汚染の予防に積極的に取り組みます。</li> <li>地域社会と連携し、地域の環境保護活動に積極的に参加、協力していくとともに作業所の整理整頓を心がけ心地よい環境の提供に努めます</li> <li>産業廃棄物の適正処理、発生抑制、及び再資源化に努めます。</li> <li>化石燃料消費量、及び電力の使用量の抑制に努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます</li> <li>紙（コピー紙）の消費削減、及びグリーン商品調達の促進に努めます</li> <li>環境関連の法規及びその他の要求事項を順守します</li> </ol> |

|                 |  |
|-----------------|--|
| <p>具体的な取組内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料使用機械、保管容器の防油堤設置、燃料流出に備えた備品（吸着マット、AC ライト、ウェス）の常時保管、及び土壌汚染防止のためのシートの使用で土壌汚染の防止に取り組んでいる</li> <li>・立木伐採、除草は最小限とし、立木利用の際は緩衝材で保護する。</li> <li>・工事着工前に希少植物、外来種の調査を実施、必要に応じ移植及び駆除を実施している</li> <li>・沢渡、白骨、乗鞍地域住民と連携し、要望に応じ除草及び特定外来種駆除の作業を実施している</li> <li>・常に作業所内の整理整頓に努め、現場周辺の環境負荷の低減を図る</li> <li>・建設副産物は可能な限り再利用、及び再生資材の利用促進を図る。またごみの分別の徹底によりリサイクル率の向上に取り組んでいる</li> <li>・アイドリングストップ、適性運転の徹底及び移動車の相乗り等、また過積載防止の徹底により使用燃料の抑制に散り組んでいる</li> <li>・「作業所運用管理チェックリスト・1」で運用状況を監視する</li> <li>・電気、燃料、紙、ゴミの発生抑制、再使用、リサイクル率の向上に向けた取り組みを「本社業務管理チェックリスト」で毎月確認している</li> <li>・地域花壇の整備等、地域環境活動に参加、社会貢献を実施している</li> <li>・本社事務所の電気・灯油使用量を前年比でグラフ化し監視している</li> <li>・一般ごみのリサイクル率向上と地域貢献を兼ねて地元小中学校の廃品回収に資材センターを収集場所として提供、参加協力している</li> <li>・年4回を目安に「エコ通信」を発信、地域住民の環境意識向上を図る</li> <li>・エコキャップ推進運動に参加している</li> </ul> |
| <p>実施結果（成果）</p> | <p><b>【作業所】</b><br/> 「作業所運用管理チェックリスト」の実施状況・・・資料①<br/> R4年9月～R5年8月 15 作業所 平均実施率 4.8（5段階評価）<br/> ※96%の実施率となり十分な取組がされている・・・資料②</p> <p><b>【総務部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量 前年比 +1421<br/> 4月迄は-479 で順調に減量できているが、5月より新社屋の建築が始まり施工業者の仮事務所の電気が共用となったため増加している</li> <li>・灯油使用量 前年比 -4290 大幅に減量となった・・・資料③</li> <li>・廃棄物リサイクル率<br/> R5年8月末 年間リサイクル率 83.59% 前年より若干増加<br/> 参考資料④</li> <li>・「本社業務管理チェックリスト」<br/> 意識として定着していることもあり全て評価基準クリア・・・資料⑤</li> </ul>   |

【社会貢献】

・地区行事への参加

- ・ R4 年 9/9 沢渡地区避難訓練へ参加 企業として提供品の確認
- ・ 12/23 沢渡地区三九郎作りに参加協力
- ・ R5 年 1/13 白骨地区 三九郎作りに参加
- 5/15 沢渡地区花壇づくりに参加
- 5/30 大野川小中学校 資源回収に参加
- 6/13 乗鞍宮ノ原地区外来種（オオハンゴンソウ）駆除活動に参加
- 6/16 乗鞍鈴蘭地区で沢環境整備事業に参加協力
- 7/5 沢渡国道草刈、花植え作業に参加

・地区環境活動の実施

- ・ R5 年 4/21 国道 158 号線前川渡～茶嵐 ごみ拾いを実施
- 5/25 大野川小 外来種授業で教員住宅裏のオオハンゴンソウ  
駆除作業に参加
- 6/1 大野川小中学校グラウンド整備全社員（タンポポ除去他）  
大野川保育園 園内危険個所の整地 側溝掃除
- 7/5 沢渡地区外来種駆除（フランス菊、ヒメジオン）  
（沢渡地区と合同で実施）
- 8/30 白骨スパ・B線 オオハンゴンソウの駆除

資料⑥ 写真、通知書他

・エコ通信の発信

- ・ 第 34 号 R4 年 10/15 SDGS を考える その 2
- ・ 第 35 号 R5 年 1/17 SDGS を考える その 3
- ・ 第 36 号 3/20 SDGS を考える その 4
- ・ 第 37 号 6/30 北の国のドラマから環境を考える
- ・ 第 38 号 8/31 地球温暖化で無くなるかもしれない食品

参考資料⑦第 36 号

・エコキャップを世界の子供にワクチンを日本委員会（JCV）へ送る

令和 5 年 7/10 （株）Green へ送る

累計個数 68,526 個

累計数量 561.8 k g

累計ポリオワクチン数 106.5 人分

資料⑧

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <p>課題・問題点と<br/>その改善に向けた取組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料使用量の削減は長年取り組んでいるが、使用台数の制限はいくらか可能だが複数の現場でその都度場所が異なるため使用量を削減することは非常に難しい。事務所電気等一般経費の削減策は継続しているが新社屋建築に向けて大幅な削減対策（温泉、ソーラーシステムの活用等）を実施見込み</li> <li>・労働力不足が今一番大きな課題であるが、国立公園内の豊かな自然のなかで働けることをアピールするため、地域と連携し外来種駆除活動の幅を増やし在来種、希少種の保護等環境保護活動を強化しアピールする</li> </ul> |
| <p>その他、<br/>アピールポイント等</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事着工前に希少植物及び外来種の調査が定着して実施されている。社員から外来種を見かけたら報告が挙がるなど生物多様性を含めた自然環境保護の意識が高くなっている</li> <li>・テレビで何度も聞くSDGS 何となく解るけど自分との関りは？このような環境情報を分かりやすく地域の方に エコ通信の発信で知らせています 個々の環境意識の向上を図っています</li> <li>・地域住民の高齢化に伴い、環境活動に限らず地域行事へ積極的に参加しており、地域企業としての役割を担っています</li> </ul>    |

作業所運用管理チェックリスト-1

第 期 作業所名 NO 309 新所砂防堤補強その2外工事(補) 施工管理責任者氏名 内川 豊

工 期 R4.6/1~R5.3/30 施工内容 J-クリ-ト堰堤工-式 付帯益路工-式 花巻工-式 作成日 R5年 3月 30日

着しい環境側面登録表

| 業務・プロセス・設備  | 環境側面               | 環境影響           | 通常 | 非通常 | 目標             | 運用管理             | 判定基準 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|-------------|--------------------|----------------|----|-----|----------------|------------------|------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
| 共通          | 構造物の破砕、路面の転圧       | 騒音の発生          | ○  | ○   | 低公害型の使用        | 低公害型機械の使用        | 5    | 5  | 4  | 4  | 5  | 5   | 5   | 4   | 5  | 5  |
| 共通          | 路面切断等による汚泥の発生      | 水質汚濁           | ○  | ○   | 汚泥回収付の機械の使用    | 汚泥回収付の機械使用       | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 共通          | 埋設管(水道、電気、温泉)の破損   | 水道、電力、温泉の停止    | ○  | ○   | 事前調査、試験、管理者立会い | 事前調査、試験、管理者立会い実施 | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 共通          | 創意工夫、地域貢献          | 評価点            | ○  | ○   | 現場当りの提出件数      | 目探管理             | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 共通          | 3次元データの作成          | 評価点            | ○  | ○   | 3Dスキマナーの使用     | 創意工夫の提出          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 共通          | 原価の管理              | 利益の確保          | ○  | ○   | 工期短縮、経費削減      | 毎月の原価管理表の確認      | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 国立公園内の作業    | 希少植物の有無の調査、あれば移植する | 希少植物の保存        | ○  | ○   | 100%実施         | 希少植物の調査・移植       | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 国立公園内の作業    | 外来種の調査、駆除          | 外来種の保護         | ○  | ○   | 100%実施         | 外来種調査、駆除実施       | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 国立公園内の作業    | 工事区域内の立入           | 生態系に影響         | ○  | ○   | 立ち入り禁止         | 目視による監視          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 国立公園内の作業    | 樹木の存在、立木の利用        | 生態系に影響         | ○  | ○   | 伐採本数の削減、立木保護   | 目視による監視          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 国立公園内の作業    | 再生材(砕石、アスファルト)の使用  | 資源の保存          | ○  | ○   | 再生材の使用         | 再生材の使用           | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 国立公園内の作業    | 間伐材の使用             | 森林保護           | ○  | ○   | 間伐材の使用         | 再生材の使用           | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 資材の購入       | コンクリートの使用          | 森林保護           | ○  | ○   | 業者持ち帰りの発生      | 業者持ち帰りの実施        | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 資材の購入       | コンクリート二次製品の使用      | コンクリートの発生      | ○  | ○   | 使用促進           | 業者持ち帰りの実施        | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 資材の購入       | 包装の簡素化、持ち帰りの提案     | 工期短縮、品質確保      | ○  | ○   | 提案活動           | 二次製品の使用          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 仮設・コンクリート工事 | 大型の型枠、型枠材の転用回数     | 廃棄物の削減         | ○  | ○   | 土の3回以上、型枠5回以上  | 提案活動の実施          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 仮設作業        | 伐採木の有効利用           | 廃棄物の削減         | ○  | ○   | 耕して販売          | 大型の型枠、型枠材の転用     | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 重機作業        | 重機の燃料使用            | 廃棄物の削減         | ○  | ○   | 排ガスの発生         | 排ガス対策車の確認        | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 運搬作業        | 過積載                | 燃料枯渇           | ○  | ○   | 資源枯渇           | 目視による監視(全車輻)     | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 仮設信号、掲示板    | ソーラー式の使用           | 燃料、作動油の漏洩      | ○  | ○   | 燃料の落下          | 流出防止備品の設置        | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 現場への移動      | 相乗り                | CO2の発生抑制       | ○  | ○   | 使用促進           | 過積載の監視           | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 現場に燃料保管     | 燃料の保管              | 車輻燃物の保存        | ○  | ○   | 相乗り促進          | 相乗り促進            | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 共通          | 手戻り工事の発生           | 漏洩による土壌、水質汚染   | ○  | ○   | 監視・測定          | 燃料保管は防油堤を設置      | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 仮設電源        | 発電機、コンプレッサの使用      | 材料、エネルギーの損失    | ○  | ○   | 低公害型の使用        | 監視・測定            | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 協力会社作業員     | 作業員から廃棄物(非当容器等)発生  | 排ガス、騒音の発生      | ○  | ○   | 持ち帰り提案         | 低公害型の使用          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 協力会社作業員     | 路上駐車               | 廃棄物の増加         | ○  | ○   | 駐車場の確保         | 目視による監視          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 協力会社作業員     | 作業服、保護帽の着用         | 交通安全           | ○  | ○   | 要求事項の伝達        | 目視による監視          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 地域近隣住民      | 苦情の発生              | 作業物の低下         | ○  | ○   | 作業開始前、必要時の説明   | 外部コミュニケーション記録    | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |
| 環境状態        | 異常気象によるグリタ豪雨の発生    | 機械、重機の浸水、埋没、流出 | ○  | ○   | 気象情報により早め避難    | 避難状況の確認          | 5    | 5  | 5  | 5  | 5  | 5   | 5   | 5   | 5  | 5  |

【記入方法】 1. 施工管理責任者は、毎月末に評価対象事項の実施状況を判断基準を参考に判断して、次の評価基準に従い監視結果を記入、実施率を算定する。※国立公園内の重機、機械の洗浄は特別保護地区(上高地、乗鞍ヶ原山荘から上)とする。

- 100%実施されている ..... 5
  - 80%以上は実施されている ..... 4
  - 約半分以上(60%)の実施である ..... 3
  - ..... 2
  - ..... 1
- ・ 実施項目は実施日を記入、該当なしの項目、月は「-」を記入する。  
 ・ 評価4・5 (実施率80%以上)は充分取組まれていると評価します。  
 ・ 過小評価項目があった場合、原因を分析し、策を講じ実施することで改善に繋がってください。



# 管理項目管理表

資料-③

| 部署名   |   | 総務部       |       | 目的: 本社業務におけるCO2排出量の削減                |       | 管理責任者 | 部署長   | 記録者   |       |       |       |       |       |  |       |
|-------|---|-----------|-------|--------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|-------|
| 実施年度  |   | 第60期      |       | 電気使用量の管理: 本社事務所、電気の適正使用により、現状維持に努める。 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |  |       |
| 作成日   |   | R4年 9月 1日 |       | 灯油使用料の削減: 手順書の順守                     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |  |       |
| 電気使用量 | 維持管理のための実施手段<br>1. 照明は必要最小限とし、昼休みは消灯を徹底する。<br>2. 凍結防止帯を管理する。<br>3. 残業は必要最小限とする。 | 第1四半期     |       |                                      | 第2四半期 |       |       | 第3四半期 |       |       | 第4四半期 |       |       | 通年実績及び評価<br>23,387<br>24,808<br>+1,421 kWh<br>58期: 24,387kW<br>5月中旬~21日新築工事<br>5月中旬~21日新築工事<br>の期間に2階の床を掘削し<br>4階の天井を掘削し<br>5階の天井を掘削し<br>6階の天井を掘削し<br>7階の天井を掘削し<br>8階の天井を掘削し |       |
|       |   | 9月        | 10月   | 11月                                  | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    |  |       |
|       |   | 59期実数     | 1,696 | 1,691                                | 1,791 | 1,994 | 2,271 | 2,426 | 2,367 | 1,923 | 2,209 | 1,864 | 1,545 |  | 1,610 |
|       |   | 60期実数     | 1,597 | 1,633                                | 1,755 | 1,945 | 1,992 | 2,507 | 2,116 | 2,335 | 2,532 | 2,154 | 1,982 |  | 1,960 |
| 増減    | -99   | -58       | -36   | -49                                  | -299  | +81   | -251  | +212  | +323  | +790  | +437  | +350  |       |  |       |
| 実施状況  |   |           |       |                                      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |  |       |
| 灯油使用量 | 維持管理のための実施手段<br>1. 適正な温度管理<br>2. 使用していない部屋の暖房器具の停止<br>3. 給油時の燃料漏れに注意            | 第1四半期     |       |                                      | 第2四半期 |       |       | 第3四半期 |       |       | 第4四半期 |       |       | 通年実績及び評価<br>4,632<br>4,203<br>-429<br>58期: 4,1740<br>59期: 4,632<br>60期: 4,203  |       |
|       |   | 9月        | 10月   | 11月                                  | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    |  |       |
|       |   | 59期実数     | 0     | 133                                  | 679   | 1,025 | 980   | 786   | 681   | 348   | 0     | 0     | 0     |  | 0     |
|       |   | 60期実数     | 0     | 116                                  | 600   | 812   | 720   | 880   | 733   | 342   | 0     | 0     | 0     |  | 0     |
| 増減    | 0   | -17       | -79   | -213                                 | -260  | +94   | +52   | -66   |       |       |       |       |       |  |       |
| 実施状況  |   |           |       |                                      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |  |       |

※ 1. 本表作成後、各部署長が確認、環境管理責任者に提出する。  
 2. 部署長は四半期毎に実施状況をチェックし月により大きな変動があった場合は、原因を究明し手段を講じる。また、期末を実施状況欄に記録する。  
 3. 通年実績値が前年比で±2%以内を妥当値とする



廃棄物再資源化率

第60期

| 月    | 廃棄物  |     | 資源物 |     |      |    |     |    |        |     |     |       |     |     |      | 資源物<br>合計 | 総合計    | 比率 % |
|------|------|-----|-----|-----|------|----|-----|----|--------|-----|-----|-------|-----|-----|------|-----------|--------|------|
|      | 可燃ごみ | 合計  | 廃プラ | 金属類 | アルミ缶 | 茶瓶 | 透明瓶 | 色瓶 | ペットボトル | 廃葉紙 | 古新聞 | ダンボール | 乾電池 | 蛍光管 |      |           |        |      |
| 9    | 38   | 38  | 30  | 17  |      | 4  | 4   | 3  | 20     |     |     |       |     |     | 78   | 116       | 67.24% |      |
| 10   | 34   | 34  | 26  | 15  |      | 4  | 3   | 2  | 20     |     |     |       |     | 1   | 71   | 105       | 67.62% |      |
| 11   | 35   | 35  | 26  | 15  |      | 3  | 3   | 2  | 18     |     |     |       | 6   |     | 73   | 108       | 67.59% |      |
|      | 107  | 107 | 82  | 47  | 0    | 11 | 10  | 7  | 58     | 0   | 0   | 0     | 6   | 1   | 222  | 329       | 67.48% |      |
| 12   | 36   | 36  | 28  | 16  |      | 4  | 3   | 3  | 19     |     |     |       |     |     | 73   | 109       | 66.97% |      |
| 1    | 38   | 38  | 29  | 16  |      | 3  | 4   | 3  | 20     |     |     |       |     | 2   | 77   | 115       | 66.96% |      |
| 2    | 36   | 36  | 29  | 15  |      | 4  | 4   | 2  | 20     |     |     |       |     | 2   | 76   | 112       | 67.86% |      |
|      | 110  | 110 | 86  | 47  | 0    | 11 | 11  | 8  | 59     | 0   | 0   | 0     | 0   | 4   | 226  | 336       | 67.26% |      |
| 3    | 35   | 35  | 26  | 16  |      | 4  | 4   | 2  | 20     |     |     |       |     |     | 72   | 107       | 67.29% |      |
| 4    | 39   | 39  | 30  | 18  |      | 5  | 4   | 2  | 22     |     |     |       |     |     | 81   | 120       | 67.50% |      |
| 5    | 38   | 38  | 28  | 15  | 115  | 4  | 4   | 3  | 22     | 633 | 149 | 419   | 9   | 1   | 1402 | 1440      | 97.36% |      |
|      | 112  | 112 | 84  | 49  | 115  | 13 | 12  | 7  | 64     | 633 | 149 | 419   | 9   | 1   | 1555 | 1667      | 93.28% |      |
| 6    | 37   | 37  | 28  | 15  |      | 5  | 3   | 3  | 25     |     |     |       |     |     | 79   | 116       | 68.10% |      |
| 7    | 38   | 38  | 28  | 15  |      | 5  | 4   | 3  | 27     |     |     |       |     |     | 82   | 120       | 68.33% |      |
| 8    | 35   | 35  | 24  | 14  |      | 4  | 3   | 3  | 25     |     |     |       |     |     | 73   | 108       | 67.59% |      |
|      | 110  | 110 | 80  | 44  | 0    | 14 | 10  | 9  | 77     | 0   | 0   | 0     | 0   | 0   | 234  | 344       | 68.02% |      |
| 年間合計 |      | 439 | 332 | 187 | 115  | 49 | 43  | 31 | 258    | 633 | 149 | 419   | 15  | 6   | 2237 | 2676      | 83.59% |      |



廃棄物再資源化率

第59期

| 月    | 廃棄物  |     | 資源物 |     |      |    |     |    |        |     |     |       |      |     |   | 資源物<br>合計 | 総合計    | 比率%    |
|------|------|-----|-----|-----|------|----|-----|----|--------|-----|-----|-------|------|-----|---|-----------|--------|--------|
|      | 可燃ごみ | 合計  | 廃プラ | 金属類 | アルミ缶 | 茶瓶 | 透明瓶 | 色瓶 | ペットボトル | 廃葉紙 | 古新聞 | ダンボール | 乾電池  | 蛍光管 |   |           |        |        |
| 9    | 39   | 39  | 28  | 17  |      | 4  | 6   | 3  | 18     |     |     |       | 16   |     |   | 92        | 131    | 70.23% |
| 10   | 35   | 35  | 26  | 15  |      | 3  | 5   | 4  | 18     |     |     |       |      |     |   | 71        | 106    | 66.98% |
| 11   | 34   | 34  | 25  | 13  |      | 3  | 4   | 3  | 16     |     |     |       |      |     |   | 64        | 98     | 65.31% |
|      | 108  | 108 | 79  | 45  | 0    | 10 | 15  | 10 | 52     | 0   | 0   | 0     | 16   | 0   | 0 | 227       | 335    | 67.76% |
| 12   | 38   | 38  | 28  | 18  |      | 4  | 5   | 3  | 17     |     |     |       |      |     |   | 75        | 113    | 66.37% |
| 1    | 35   | 35  | 27  | 17  |      | 4  | 3   | 2  | 16     |     |     |       |      |     |   | 69        | 104    | 66.35% |
| 2    | 36   | 36  | 27  | 16  |      | 3  | 4   | 4  | 17     |     |     |       |      |     |   | 71        | 107    | 66.36% |
|      | 109  | 109 | 82  | 51  | 0    | 11 | 12  | 9  | 50     | 0   | 0   | 0     | 0    | 0   | 0 | 215       | 324    | 66.36% |
| 3    | 38   | 38  | 27  | 17  |      | 3  | 3   | 4  | 17     |     |     |       | 3.5  |     |   | 77.5      | 115.5  | 67.10% |
| 4    | 40   | 40  | 29  | 18  |      | 4  | 5   | 3  | 20     |     |     |       |      |     |   | 79        | 119    | 66.39% |
| 5    | 38   | 38  | 28  | 16  |      | 87 | 3   | 2  | 19     | 638 | 60  | 506   |      |     |   | 1362      | 1400   | 97.29% |
|      | 116  | 116 | 84  | 51  | 87   | 10 | 11  | 9  | 56     | 638 | 60  | 506   | 3.5  | 3   | 3 | 1518.5    | 1634.5 | 92.90% |
| 6    | 36   | 36  | 25  | 18  |      | 4  | 4   | 3  | 19     |     |     |       |      |     |   | 73        | 109    | 66.97% |
| 7    | 36   | 36  | 23  | 16  |      | 3  | 4   | 4  | 20     |     |     |       |      |     |   | 70        | 106    | 66.04% |
| 8    | 38   | 38  | 28  | 19  |      | 3  | 4   | 4  | 20     |     |     |       |      | 2   |   | 80        | 118    | 67.80% |
|      | 110  | 110 | 76  | 53  | 0    | 10 | 12  | 11 | 59     | 0   | 0   | 0     | 0    | 2   | 2 | 223       | 333    | 66.97% |
| 年間合計 |      | 443 | 321 | 200 | 87   | 41 | 50  | 39 | 217    | 638 | 60  | 506   | 19.5 | 5   | 5 | 2183.5    | 2626.5 | 83.13% |

本社業務管理チェックリスト

第 60 期

ESHM-8-04-01

資料-5

| 重要度     | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|---------|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|         |    |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 電気      | 2  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 使用量削減   | 2  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 燃料消費量削減 | 3  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 消費量削減   | 2  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 紙の使用量削減 | 2  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 廃棄物     | 3  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 健康      | 3  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| 管理      | 3  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
| その他     | 2  | 4   | 4   | 4   | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |

総務担当者は、月ごとに取組状況を目視で確認してチェック欄に記入、下記の評価方法に従って評価点を算出し評点欄に記入する。

- 重要度 → 3 ... 環境保全に重大な効果がある 2 ... 環境保全にかなり効果がある 1 ... 環境保全に多少効果がある
- チェック → ○ ... 実施されている △ ... 概ね実施されている × ... 取り組みが見られない/取り組みが不十分
- 評点 = [重要度] + [チェック (取組状況 ○ ... 2点 △ ... 1点 × ... 0点)]

評価基準 ..... [重要度 3 の項目は 評点 4以上 重要度 2 の項目は 評点 3以上 重要度 1 の場合は 評点 2以上 (但し、重要度 3 の項目について、チェック(取組状況) × の場合は不適合とする。)]





R 4.9.9 沢渡地区避難訓練に参加



R 4.12.23 沢渡地区三九郎作り



R 5.5.15 沢渡地区花壇づくり





R5.5.30 大野川小中学校廃品回収に参加協力

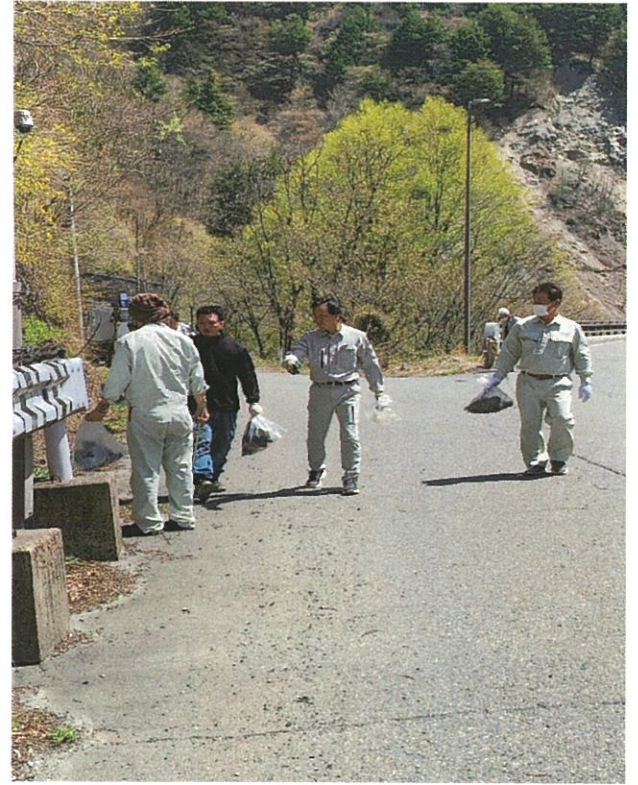


R5.6.13 乗鞍宮ノ原地区外来種（オオハンゴンソウ）駆除



R5.7.5 アダプトシステム草刈り作業 (R158号線沿い)





R5.4.21 国道158号線 前川渡～茶嵐 ごみ拾い



R5.5.25 大野川小学校外来種授業に参加



R5.7.5 沢渡地区外来種駆除





R5.6.1 全社ボランティア作業  
大野川小中学校グランド整備  
グランド草取り及び転圧  
危険木の伐採

乗鞍保育園  
庭園危険個所の転圧  
側溝清掃等







R5.6.16 乗鞍鈴蘭地区7カ所 沢環境整備事業の協力





# サウンド建設 ECO たより

第 36 号

「豊かな自然、心地よい環境を 子供たちへ そして孫たちへ」

このスローガンのもと、私達、サウンド建設(株)社員は、当社の事業活動により生じる環境への負荷をできる限り低減するため、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。当社の活動のなかで、地域の皆様とともにできる活動の紹介、環境に関する情報の提供等を発信することで、環境活動の輪が大きく広がっていくことを願って……  
” サウンド建設 ECO たより ” を発信します。

## 🌍～SDGsを考える～ みんなで生き延びるために🌍




異常気象、肥料や資材の高騰、世界各地で巻き起こる紛争… 様々な要因が重なって、世界的な食糧危機が現実のものとなりつつあります。そして、かつて「飽食社会」と言われた日本も、いよいよ「飢餓」が本格化するかもしれません。



「江戸時代や戦後じゃあるまいし、飢餓だなんておおげさなw」と、思いましたか？ 今後、食糧が世界的に不足すれば、他の国へ輸出していた国々も、自国の分を確保するために、輸出をストップしてしまうでしょう。そうなれば、食糧の6割以上を輸入に頼る日本では、何が起こるか？ モノの不足によって価格が高騰し、買えない人が確実に増えるでしょう。実は令和の日本にも、ごく少数ながら貧困による飢餓が存在するのですが、上記のような事態となれば、飢餓はさらに広がっていくこととなります。

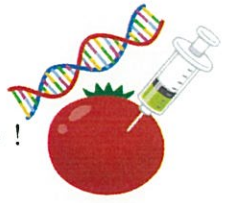
だったら、何とかして日本国内の生産量を増やすことはできないのか？ 元より高齢化や人手不足の上、資材高騰による経営難で廃業する農家さんが増えれば、生産力は減少しそうです。それ以前に、大半を輸入に頼っている肥料・飼料が海外から入って来なくなれば、もはやお手上げです(T\_T)

結局、私達は何もできないのでしょうか？  
いいえ、作る量を増やせないのならば、せめて消費する量を減らしましょう。  
えっ、「食事量を減らせと言うのか!」って？ ま、まあそれも一つの手ではありますが…  
もっと減らすべきムダなものがありますよね？ そう、「食品ロス」を減らすのです。



- ・賞味期限が近いものを積極的に選ぶ(ただし、食べきれる範囲で)
- ・規格外の野菜や果物も有効に活用する
- ・冷蔵庫をこまめに確認し、期限切れで捨てることのないように気を付ける。
- ・外食の際は、食べきれる量をよく考えて注文する。
- ・買ったけれど食べない物、余っている食べ物は、「フードバンク」「フードドライブ」などに寄付すれば、食品ロスを減らすだけでなく、食べ物に困っている人々を助けることもできます。

それにしても、とんでもない世の中になったものです。  
もし将来、食糧のほとんどを、安全性に疑問が残る人工的な作物(遺伝子組み換え作物やゲノム編集食品など)によって賄われる時代が来たら… (((;°Д°)))  
そんな恐ろしい世界にならないよう、私達一人ひとりができることを、今すぐ実行していきましょう!



ご意見、要望、その他疑問点等ありましたら 声をかけてください。対応できる範囲でお答えしたいと思います。  
受付先:環境管理室長 河辺澄子

発行日 令和 5 年 3 月 20 日  
発行元 サウンド建設株式会社  
TEL 93-2810 FAX 93-2046

資料⑧

## PETボトルキャップで世界の子供を救おう

## 受領書

サوند建設株式会社 御中

令和5年 7月 10日

ご担当者: 河辺 様

ご住所: 松本市安曇野4160-2

FAX: 0263-93-2046

## (株) Grean

本社

〒399-4431 長野県伊那市西春近5806

TEL 0265-73-9533 FAX 0265-73-9577

箕輪工場

〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町

中箕輪14017-41

TEL 0265-71-3588 FAX 0265-71-3577

この度はPETボトルキャップで世界の子供を救おう  
活動にご協力いただき誠にありがとうございます。



Grean

令和 5年 7月 10日 下記の通り受領いたしました。

| 数量(kg) | 個数     | CO2削減効果 | ポリオワクチン数 | 備考      |
|--------|--------|---------|----------|---------|
| 9.0 kg | 3,600個 | 28kg    | 4.5人分    | 68.5264 |

| 累計<br>数量(kg) | 累計<br>個数 | 累計<br>CO2削減効果 | 累計<br>ポリオワクチン数 | 備考                |
|--------------|----------|---------------|----------------|-------------------|
| 131.0 kg     | 52,400個  | 413kg         | 65.5人分         | 106.5人<br>561.8kg |

※2023年7月より信州ウエイストから株Grean(グリーン)へと社名変更いたしました。

ご提供ありがとうございます。

※1kgを400個として計算しています。 ※ポリオワクチン1人分=2kg(800個)となります。  
※1kg(400個)が焼却されると3.15kgのCO2が発生します。

受領いたしましたPETボトルキャップは弊社にて粉碎処理後、再資源として売却し、  
売却益を認定法人NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(以下、JCV)へ  
寄付させていただきます。

JCVへは、毎月集計し寄付させていただきます。

JCVからの領収書が届き次第、弊社ホームページ(<http://www.shinshu-wasteco.com>)で  
報告させていただきますのでご確認ください。